

目次

- セクハラ・DV 防止セミナー（報告）・・・・・・・・・・ 1
- 本場のキムチづくり「在住韓国の女性に習う会」に参加して（報告）・・・・・・ 3
- 2012 国際女性デーひろしま（報告）・・・・・・・・・・ 3
- ゆいぽーと（男女共同参画推進センター）から講座のお知らせ・・・・・・・・・・ 4

セクハラ・DV防止セミナー（報告）

大きな社会問題となっているセクハラ（セクシュアル・ハラスメント）とDV（ドメスティック・バイオレンス）ですが、まだ理解が十分に進んでいるとは言えません。そこで、セクハラとDVについて理解を深めるとともに、その支援を考え実践していこうとセミナーを開催しました。

第 1 回 講演

セクシュアル・ハラスメント 誰もがその当事者になる ～ 身近に起きていること～



月日：2 月 25 日

会場：中区地域福祉センター

講師：広島大学ハラスメント相談室准教授 北仲千里先生

セクハラは、仕事や学校などの関係者の間で、その立場を利用して、相手が望んでいない性的なことをするいじめ・いやがらせのことで、仕事や学校生活が犠牲になるため、深刻な問題です。加害者が地位や権限を利用して行う行為なので、被害者が「ノー」と言えない状況にあり、解決に当たっては加害者と被害者が対等でない関係ということを考慮して行う必要があります。

しかし、加害者は悪気がないことも多く、潜在化しやすく、訴えにくいのです。犯罪になってもなくても、組織はセクハラとして、対応する必要があります。

性的暴力と女性蔑視、他のいじめ・差別などの表れとしてセクハラ被害が出ており、性的な被害にとどまらず、労働権・学習権の侵害が深刻です。

男女雇用機会均等法改正により、雇用主にセクハラ防止・解決の「配慮義務」が課されるとともに、雇用管理上必要な措置（方針の明確化及びその周知・啓発、相談に応じ適切に対応するために必要な体制の準備、事後の迅速かつ適切な対応、プライバシー保護の規定、その周知等）が義務付けられています。



取組み実情としては業界による差が大きく、強い法制度がないのも問題です。

北仲先生からご自分の経験や事例を基に体系的に話していただき、セクハラの防止や被害者支援についての理解を深めるとともに、どの様にしたら、私たちが支援に踏み出せるか考えていきたいと思っています。
(啓発部：三上芳子)

第2回 シンポジウム

D V 支 援 現 場 か ら 見 え る 課 題 ～ 私 た ち に 何 が で き る か ～

月日：3月14日

会場：中区地域福祉センター

コーディネーター：

広島大学ハラスメント相談室准教授

北仲千里先生

シンポジスト：

一般社団法人みもぞの会(鳥取)代表理事

安田壽子さん

特定非営利活動法人ふぁみりい理事長

土居達雄さん

広島市配偶者暴力相談支援センター主幹

柳下良悟さん



安田さんのお話

15年間の活動の中で同伴者を含めて1,700人以上シェルターに受け入れ、他に400人以上の相談に対応しました。広島からもたくさんの被害者が逃げて来ています。保護命令や自己破産の支援・裁判所へ同行・弁護士の紹介・生活支援・就職支援・学習支援・行政関係機関との連携などを行っています。デートDVの被害者も受け入れており、不登校の子どもの中には農業体験や学習指導で通学できるようになった人もいます。

土居さんのお話

平成10年からシェルターを開設しています。同伴者を含めて230人の方がシェルターを利用されました。自助活動として互助会を作り、2カ月に1度シェルターの卒業生が集まり、洋裁や陶芸などをして快方に向かうようにしています。電話相談の支援活動では14年度の643件から、22年度は1,467件と増え続けています。

柳下さんのお話

広島市ではDV被害者の相談から自立まで総合的に支援するため、広島市配偶者暴力相談支援センターを開所しており、女性相談員が面接・電話による相談や情報提供を行っています。また、デートDVの相談も受け付けています。1人で悩まずに、まず相談を。秘密は厳守します。

北仲先生のまとめ

DV被害者は、ホットラインへ電話をすれば、話しているうちに解決策も見えてきます。民間の団体がシェルターを作ってサポートしており、特に危険な状態の人には、その内容やご苦勞な点などを話してもらいたいです。加害者を治すには、日本の社会が力をつける必要があります。解決に時間がかかります。話す相手、愚痴を言える相手を見つけたり、ホットラインへ電話したり、また身の回りに話す相手を見つけたりして、自分の重心を真っすぐにするのが大切です。



DV被害者支援の第一線で活動されている講師から、「私たちに何ができるか」のヒントを頂きました。被害者の方が心を開いて話される場づくり、そして傾聴できる相手になること。身近に被害に遭っている方には電話相談等があることを伝える。一番大切なことは知ること学ぶこと、そして気付くこと、そのうえで行動できるようになりたいと感じました。
(啓発部：山本紀子)

本場のキムチづくり

「在住韓国の女性に習う会」に参加して（報告）

本格キムチづくりに挑戦！
優しく丁寧な指導で、上手く
できました。美味しく食べる
日が楽しみです。



昨年12月16日に広島市社会福祉センターで、在日本大韓国民団広島県地方本部婦人会会長・宋姫子さんを講師に迎え、キムチづくりを通じて、韓国の文化に触れました。

キムチの調味料づくりのため、その材料などを寝かせて熟成させましたが、その間（約1時間）を利用して、広島女学院大学の篠原収教授に「男性の家事・育児・子育て参加社会に向けて」をテーマに講義をしていただきました。

共働き世帯の増加を現在の社会事情から説明され、初婚年齢も上がりつつあり、結婚はゴールではなく、家事労働のスタートである、と語られました。

その後、昼食をいただき、白菜にキムチの調味料を丁寧に挟んで参加者全員が持ち帰りました。



参加者は、
熱心にメモを
とりながら
聴きました。



2012 国際女性デーひろしま（報告）



集会でお話される青木千春さん

3月8日の国際女性デーを記念して、3月11日に中区地域福祉センターで「2012国際女性デーひろしま」の集会が開催され、約120人の参加がありました。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故からちょうど1年ということで、「子どもたちにしあわせな未来を— どうなっている原発事故」をテーマに掲げました。

福島から広島へ避難して来られた青木千春さんは「経験したことを語り継がねば」と、福島の人たちの辛い胸の内を語り、同じく渡邊弥生さんは放射能への不安を抱えて生きなければならない

福島の子どもの実態を報告しました。

そして、武市クリニック院長・武市宣雄先生には「放射線がもたらす身体への影響」という題で、放射線の甲状腺への影響を分かりやすくお話いただき、真実を知ることの大切さを学びました。

会場では世界65の国と地域から届いた235通の連帯メッセージ、東日本大震災の被害と支援についての新聞写真、日本の原発とエネルギーの状況についての展示があり、集会終了後は平和記念公園まで歌いながら行進をしました。また、国際女性デー世界キャンペーン「橋の上で平和を訴える」に、昨年に続いてインターネット上で参加しました。

（学習部会）



平和公園までの行進に参加された皆さん

ゆいぽーと(男女共同参画推進センター)から講座のお知らせ

「仕事と生活の調和」ワーク・ライフ・バランスを支援する講座

自分らしく生きる - 幸せな人生への第一歩 -

日時	テーマ	講師
5月12日(土) 13:30~15:30	タイムマネジメントとマネープラン — 時間を大切にして幸せな人生を送ろう! —	有限会社ヒューネット 代表取締役 小西 勝巳さん
5月26日(土) 13:30~15:30	欧米から日本をみる 日本から欧米をみる — “わたし”らしい働き方と暮らしをみつけよう! —	アメリカ人・イギリス人カップル Joy & Paul 夫妻 日本人カップル 西村真美子、貴史 夫妻

【対象】働いている方、就職・再就職を考えている方、
ワーク・ライフ・バランスに関心のある方

【定員】30人(先着順)参加費無料

【託児】1回1,000円(税込)(要申込。締切各1週間前)



女性のための健康講座

女性のためのフィットネス

実施日	時間	テーマ	託児
6月13日(水) スタート 毎週水曜日 全10回 ※8月15日(水) はお休み	12:30~ 13:30	フィットネス① 筋肉をつけて基礎代謝を上げよう!	○
	15:30~ 16:30	フィットネス② イス・マット・タオルなど身近なものを使ってめざせマイナス10才!	○
	19:00~ 20:00	フィットネス③ ZUMBA	×
6月14日(木) スタート 毎週木曜日 全10回 ※8月16日(木) はお休み	9:30~ 10:30	フィットネス④ 姿勢を正して、うる、つや、ビューティー	○
	11:00~ 12:00	フィットネス⑤ 更年期 ビューティーエクササイズ	○
	19:00~ 20:00	フィットネス⑥ ゆだねる ながれる ととのう 最高に心地よくする珠玉のセルフケア	×

【対象】女性

【定員】各コース40人(先着順)

参加費: 6,500円 託児付: 8,000円

【講師】AFAA フィットインジャパン(株) 専任講師

【託児】託児付各コース先着6人。

詳細はお問い合わせください。



《講座についてのお問い合わせ・お申し込みは、ゆいぽーとへ》

〒730-0051 広島市中区大手町5丁目6番9号 TEL 082-248-3320 FAX 082-248-4476

休館日: 月曜日、祝日(月曜日の場合は直後の休日でない日)、8月6日、12月29日~1月3日

開館時間: 9時~21時 受付時間: 9時~20時

編集後記:

広島市女性団体連絡会議(WENET)が、セクハラ・DV防止セミナーをはじめ、着実に活動していることをあらためて感じ、その苦勞に思いをはせながら33号のニュースの編集にあたりました。

イタリアでは国際女性デーは「女性の日」として、男性が女性にミモザの花を送る習慣があるそうで、生活の中に男女共同参画が根付いていることをとてもうれやましく感じました。一方で運動として捉えず、もっと自然にお互いの性を尊重する関係ができるように、私たちの活動も柔軟な取組が必要なのかなとも感じました。

WENET ニュース第33号 2012年3月

発行者 広島市女性団体連絡会議(広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付)

責任者 西田 志都枝